

令和4年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
1 やまぐちリフレッシュパーク	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
2 山口市スポーツの森	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
3 山口市小郡屋内プール	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
4 やまぐちサッカー交流広場	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
5 山口市南部運動広場	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
6 山口情報芸術センター	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
7 中原中也記念館	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14
8 山口市民会館	
事務事業評価表	15
モニタリング評価表	16
9 クリエイティブ・スペース赤れんが	
事務事業評価表	17
モニタリング評価表	18
10 山口市菜香亭	
事務事業評価表	19
モニタリング評価表	20
11 嘉村礪多生家	
事務事業評価表	21
モニタリング評価表	22
12 十朋亭維新館	
事務事業評価表	23
モニタリング評価表	24
13 国民宿舎秋穂荘	
事務事業評価表	25
モニタリング評価表	26
14 重源の郷体験交流公園	
事務事業評価表	27
モニタリング評価表	28
15 大原湖キャンプ場	
事務事業評価表	29
モニタリング評価表	30
16 湯田温泉観光回遊拠点施設	
事務事業評価表	31
モニタリング評価表	32
17 新山口駅観光交流センター	
事務事業評価表	33
モニタリング評価表	34
18 山口市宮野地域交流ステーション	
事務事業評価表	35
モニタリング評価表	36
19 山口市大歳地域交流ステーション	
事務事業評価表	37
モニタリング評価表	38

事務事業評価報告書

施設名: やまぐちリフレッシュパーク

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成19年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 榎多々良造園 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	体育施設の整備・充実	
事業開始背景等	市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため、総合体育館を中核にスポーツレクリエーションの拠点として平成10年に設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	市北部地域のスポーツ拠点施設として、大規模な大会から練習まで、幅広い用途で多くの方に利用されています。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため入場制限を行いながらプールの一般利用を再開するとともに、工事に伴う利用停止もなく施設を開館できたことにより、利用者数が増加しました。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なることから再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿った自主事業を実施されています。 適正な維持管理に加え、器具等の充実や利用者の安全に配慮した取組を実施されており、本市の主要スポーツ施設としての役割を果たされていると判断します。 引き続き満足度向上に向けた取組を実施されることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: やまぐちリフレッシュパーク

指定管理者: 株式会社多々良造園

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施設や修繕など適正な施設管理が行われています。					3
		維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。屋外についても緑地帯も含め景観が保たれるように管理されています。					4
		再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。					3
		人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。内部研修や体育施設管理士等の外部研修等に参加し、職員の育成・指導が行われています。また上級救命講習を受講するなどAED設置救急ステーションとしても認定されています。					3
		地域連携 ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われたか。	地元水利組合との共同草刈り作業等に協力されています。地域行事への協力や近隣保育園等行事への駐車場開放など、地域との連携が図られています。やまぐち路傍遊に登録し講師として派遣もされています。					3
		接客対応 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理など適切に対応し、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。					3
		労働環境 ・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。					3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用調整会議で予約調整を行う等、平等利用に関する基本姿勢は適切です。					3
		個人情報保護 ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。					3
		安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	日常点検・定期点検をはじめ、救命講習等の受講、AEDの設置場所の明示やPM2.5や熱中症の予報を利用者に告知するとともに温度湿度測定器を設置するなどの安全対策やケガの対応として給湯室に水入れや冷蔵庫を設置されています。					3
		危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	感染防止対策を講じるとともに、緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。					3
利用者のサービス向上への取り組み	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページやSNSを開発するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。					3
		サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	窓口でPCを設置し予約システムを誰でも利用できるようにされています。市のトレーニング機器やニュースポーツ用具以外に独自に器具等を導入され充実が図られています。芝生広場を積極的に開放され、グラウンドゴルフ等に利用されるなど、サービス向上に努めています。					4
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	感染症対策を講じながら幅広い年齢層に対応した自主事業が行われています。					4
		受託事業 ・受託事業は適切に実施されたか。	該当なし					—
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聞き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。					3
経営状況	収支等実績	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。	サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。					4
		収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、当初収支と差異がある科目がありますが適正に執行されています。					3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。	収入の減少はあったものの、概ね安定的な経営が行われています。					3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。					3
評点合計			標準	57	加算	4	61	
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館業務及び自主事業の展開に大きな制約が課せられるなかにおいても、これまでの経験を活かし、利用者の安心・安全を第一とした施設運営とともに感染拡大防止と業務継続の両立に取り組まれました。	年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	—
		S	A					
総評		—						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 山口市スポーツの森

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成20年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 榎多々良造園 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 ・ネーミングライツ導入 ネーミングライツパートナー 山口マツダ株式会社 期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日 令和10年3月31日まで契約期間を更新しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	体育施設の整備・充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及を図るため、西京スタジアムを中核とした公式野球場として平成7年に設置されました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		県下有数の野球場として、大規模な大会から練習まで、幅広い用途で多くの方に利用されています。 令和4年11月からの改修工事に伴い、西京スタジアムを利用停止したことにより利用者数が減少しています。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なるため再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿った自主事業を実施されています。 スコアボード(大型映像装置)の利活用を積極的に実施されています。 県内有数のスタジアムとして、常に最良の環境を維持するように努められる等、利用者からの評価も高い施設と認識しています。 引き続き、満足度向上に向けた取組を実施されることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市スポーツの森

指定管理者: 株式会社多々良造園

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。				☆		4	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
			サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。						—	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
評点合計			標準		57	加算	2	59		
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響及び西京スタジアムの改修工事により、貸館業務及び自主事業の展開に大きな制約が課せられるなかにおいても、これまでの経験を活かし、利用者の安心・安全を第一とした施設運営とともに感染拡大防止と業務継続の両立に取り組みました。					年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	—		
総評		S	S	S	A					

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 山口市小郡屋内プール

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成24年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの普及振興)を実施しました。 ・指定管理者 ナカムラ・タタラゾウエン・ビークルーエッセ共同企業体 指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	体育施設の整備・充実	
事業開始背景等		市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため、平成3年に設置しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		年間を通して運営している屋内プール施設として、多くの方に利用されています。 令和4年10月からの改修工事に伴い、施設を休館したことにより利用者数が減少しています。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なるため再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿ったさまざまな自主事業を実施されています。 改修工事に伴い令和4年10月から施設を休館しました。 再開後は引き続き利用者数の増加と満足度向上に向けた取組を実施されることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:小郡屋内プール

指定管理者:ナカムラ・タタソウエン・ピークレーエッセ共同企業体

指定期間:令和2年度～令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	適正かつ公平に利用許可業務等が行われています。また、鍵施設や修繕など適正な施設管理が行われています。					3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	清掃、保守点検などについて適正に行われています。常に良好な状態に保たれるよう点検や修繕等を実施されています。					3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託先から業務報告書等の提出を受け、実績等を管理しており、業務の監督は適正に行われています。					3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	適正に職員配置が行われています。救助法訓練や泳法研修を定期的に実施するなど、職員の育成・指導を図り、事故防止に努められています。また上級救命講習を受講するなどAED設置救急ステーションとしても認定されています。					3	
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域イベントへの協力など、地域や各種団体と連携しています。					3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情処理など適切に対応し、利用促進への取組がなされています。また研修等を実施して、利用者サービスの向上が図られています。					3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	関係法令等を遵守され、労働環境は整えられています。					3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	目的別にレーンを設置するなど、公平性・平等性を保ちながら、利用の促進が図られています。					3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の保護や取扱いについて、その重要性を認識し、職員間で徹底されています。					3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	フロント・監視員のトランシーバー携帯により安全確保や急病人発生時の緊急対応の体制がとられています。救助用ブイ、水上タンカの営業前点検や緊急時の訓練実施や清掃等により日々の安全対策が行われています。					3	
		危機管理	・防災、防犯対策など危機管理体制が適切であったか。	感染防止対策を講じるとともに、緊急時対応体制の確立や初期対応を円滑に行えるように緊急連絡網が作成されています。日々の業務連絡等において、危機管理意識の醸成が図られています。					3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設のホームページを開発するとともに、紙媒体による施設だよりを発行し、広く情報提供が行われています。					3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用目的やレベルに応じた専用レーンを設定するとともに、プール用品の販売や女子更衣室前へのパーテーション設置など、サービス向上に努めています。					4
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	感染症対策を講じながら幅広い年齢層に対応した自主事業が行われています。					4
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。	該当なし					—	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施され、利用者の意見・要望を聴き、より良い施設の管理運営及びサービスの提供に努められています。					3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	サービス向上や自主事業等の展開により利用者の確保に努められています。					4	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、当初収支と差異がある科目がありますが適正に執行されています。					3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	収入の減少はあったものの、概ね安定的な経営が行われています。					3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されています。					3	
評点合計			標準	57	加算	3	60			
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響及び施設の改修工事により、貸館業務及び自主事業の展開に大きな制約が課せられるなかにおいても、これまでの経験を活かし、利用者の安心・安全を第一とした施設運営とともに感染拡大防止と業務継続の両立に取り組まれました。		年度評価		A					
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	—		
総評		S	S	A						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: やまぐちサッカー交流広場

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成23年度から指定管理者を導入し、利用者サービスの向上、中山間地域の活性化に努めました。 ・指定管理者 特定非営利活動法人八坂地区むらづくり協議会 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。中山間地域の交流人口が拡大し、中山間地域の活性化が図られています。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	体育施設の整備・充実	
事業開始背景等	中山間地域の交流人口の拡大を目的に、旧八坂中学校(廃校)を活用し、平成22年5月に設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	中山間地域にあるサッカー施設として、多くの方に大会や練習で利用されており、中山間地域の交流人口拡大や地域活性化につながっています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なるため再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われています。 中山間地域の活性化を担う施設として、ニーズや地域に密着した自主事業を実施されるなど、地域おこしのけん引役となっています。 引き続き、サービス向上や地域の活性化に向けた取組されることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: やまぐちサッカー交流広場

指定管理者: 特定非営利活動法人 八坂地区むらづくり協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履 行 多 数 (1点)	一 部 不 履 行 (2点)	良 好 (3点)	優 秀 (4点)	特 に 優 秀 (5点)			
施設の 適正な 管理運 営の確 保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
	利用者 のサー ビス向 上への 取り組 み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。						—	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3	
経営 状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
評点合計			標準		57	加算	1	58		
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館業務及び自主事業の展開に大きな制約が課せられるなかにおいても、これまでの経験を活かし、利用者の安心・安全を第一とした施設運営に取り組みました。						年度評価	A		
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	—	
総評			A	A	A	A				

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 山口市南部運動広場

担当部 交流創造部

担当課 スポーツ交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者		平成19年度から指定管理者制度を導入し、民間業者により条例に定める事業(健康増進・スポーツの振興)を実施しました。 ・指定管理者 (株)ウィンツアーレ 指定管理期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
安全・快適にスポーツレクリエーション活動を楽しむことができます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	スポーツ活動の充実	
	基本事業	体育施設の整備・充実	
事業開始背景等	市民の心身の健康増進とスポーツの普及振興を図るため昭和56年に設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	市南部地域の屋外運動施設として、多くの方に利用されています。 屋外施設のため利用は天候に左右される施設です。 令和5年1月からの改修工事に伴い、テニスコートを利用停止したことにより利用者数が減少しています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		他にも体育施設がありますが、施設利用が異なるため再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
		<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の維持管理は適正に行われるとともに、ニーズに沿った自主事業を実施されています。 適正な維持管理に加え、地域と連携した取組やサービス向上に向けた取組を実施されています。 引き続き、満足度向上に向けた取組を実施されることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市南部運動広場

指定管理者: 株式会社ヴィンツァーレ

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携 ・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		接客対応 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		労働環境 ・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護 ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理 ・防災、防炎対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用者満足度	利用拡大 周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
		サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		受託事業 ・受託事業は適切に実施されたか。						—
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		57	加算	1	58
審査結果	新型コロナウイルス感染症の影響及びテニスコートの改修工事により、貸館業務及び自主事業の展開に大きな制約が課せられるなかにおいても、これまでの経験を活かし、利用者の安心・安全を第一とした施設運営に取り組みました。		年度評価			A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評		A						
総評		—						

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口情報芸術センター

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者		指定管理者制度の導入により民間のノウハウを取り入れ、来館者への対応や施設の適切な管理を行い、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。 YCAMの目的である「本市の個性となる新しい文化の創造と発信」を行うと共に、これまで蓄積した技術・知見・ネットワークを生かして、アートの視点から企業や大学との新たな交流・連携・協業によるプラットフォームづくりを進め、新たな価値の創造に取り組みました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
事業に参加・参画する市民・団体が増え、文化に対する意識が高まります。また、施設を誇りに思う市民が増えるとともに来場者が増えます。 先端的なアートの創造発信と共に地域資源を開発・新たな価値を加え発信することで交流人口が増加します。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等 平成15年11月に開館した山口情報芸術センターの一体的な管理運営、事業運営のため財団法人山口市文化振興財団へ委託しています。			
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、持ち直しつつあり、来館者数は前年度と比較して増加となっています。 施設の開館に当たっては、感染症防止対策を実施し、利用者が安全安心に利用できる環境を維持しています。 メディアテクノロジーを応用したオリジナル作品制作の企画力や技術力により、国内外のアーティストと共同したアート制作につながっており、質の高い作品の鑑賞機会の提供に寄与しています。またオリジナル性の高い教育プログラムは幅広い世代の参加者を獲得するなど、文化を生かした本市個性の創造と発信に貢献しています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	情報芸術文化を創造・発信する施設の管理運営にかかる事業であるため、類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地		最新の機器等を備える大規模な施設の管理運営費であるため、本施設の機能を維持するためには、一定の予算確保が必要です。	
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設の実情や事業内容に合わせた適切な安全確保や来館者への対応が図られています。 新型コロナウイルス感染拡大の影響下においても、感染症対策の強化に取り組み、来館者が安全・快適に施設を利用できるよう努められています。 引き続き、安全確保に努めながら、YCAMの設置目的に沿った魅力ある企画事業を実施することで、利用者の拡大、満足度向上の取組を進められることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口情報芸術センター

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3			
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3			
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3			
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3			
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4			
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3			
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3			
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3			
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3			
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3			
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3			
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3		
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3		
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3		
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			4		
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3		
経営状況	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆		4			
	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3		
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3		
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3		
評点合計						標準	60	加算	3	63	
審査結果	次代を担う人材の育成と新たな山口の文化の創造につながる事業や教育・学習支援活動を展開するという施設の設置目的に沿って、良好な施設管理が行われている。また、維持管理・保守点検をはじめ、施設の管理運営については、職員及び専門業者への委託により適正に行われている。アート事業、地域開発事業、シネマ事業などYCAMの活動への理解を深める事業が展開されているなか、特に近年では、教育委員会と連携したICT教育プログラムの実施や中心市街地と連携した賑わいの創出の取り組みなど、YCAMの活動成果を地域に波及させる具体的な取組実績も積み重ねている。こうした取組を通じて、地域や関係団体との交流が一層促進されるとともに、YCAMが国内外の人的資源と地域資源をつなぐプラットフォームとしての役割を担っていることは高く評価できる。また、コロナ禍においてもオンラインの手法を積極的に活用し、各事業の実施がなされたことも評価できる。						年度評価			A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
		A	A	A	A						
総評							総合評価				

事務事業評価報告書

施設名: 施設名: 中原中也記念館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者 中原中也研究者、文学関係者 中原中也に関心がある人		指定管理者制度を導入し、来館者への適切な対応や施設の管理を行い、快適な観覧環境の確保に努めました。また、下記のとおり事業を実施しました。 ・資料の収集、保存及び展示 ・資料の利用に関する説明並び指導及び助言 ・資料に関する調査及び研究 ・記念館の利用促進(教育普及事業、広報事業等)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
中原中也を通じて、山口を訪れる人が増えます。 中原中也の研究が進み、中也の魅力をj知る人が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等		中原中也記念館は、平成6年2月18日に中原中也を顕彰研究する拠点施設として建設され、来館者にとって利用しやすい施設とするべく、ハード面の充実を図りその施設の維持管理を図ります。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少していましたが、令和4年度は、JRが行った「サイコロきっぷ」などの影響もあり、昨年度より入館者数が増加しました。今後も、展示や様々な企画を通じて、全国に中原中也と中也の詩の魅力を発信するよう努めています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	中原中也記念館は中也研究及び情報発信への取り組みをしており、類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	中原中也を通じて本市の魅力を創造・発信するためには一定の予算の確保が必要です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>細やかな修繕箇所の把握や対応に努めるなど、来館者が施設を安全・快適に利用できる空間の確保がなされています。また、オンラインやSNSの積極的な活用等により、コロナ禍においても工夫をしながら、中原中也及び中原中也記念館のファンを増やすための幅広い世代に向けた取組が実施されています。地域イベントの連携や、コロナ禍後の観光誘客企画との連携に努めることで、入館者数やグッズ売り上げについて復調しており、更なる向上を期待します。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 中原中也記念館

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。				☆		3	
	再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。				☆		3	
	地域連携 ・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		3	
	接客対応 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。				☆		3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	労働環境 ・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護 ・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。				☆		3	
	安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。				☆		3	
	利用拡大 周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4	
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。					☆	4
		受託事業 ・受託事業は適切に実施されたか。				☆		4
改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。				☆			3	
経営状況	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。				☆		3	
	収支等実績	収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3	
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆		3	
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3	
評点合計				標準	60	加算	4	64
審査結果	維持管理・保守点検をはじめ、施設の管理運営については、職員及び専門業者への委託により適正に行われている。また、中에도関わりのある資料の収集・保存・研究を積極的に進め、中也の活動拠点となり、魅力的な常設展示や企画展を実施するなど、中에도に光をあて、広く全国に発信する取り組みが行われている。また近年は、オンラインやSNSの積極的な活用などに取り組み、幅広い世代にも中에도を知ってもらえるよう事業展開を行っており、このことは、コロナ禍において、記念館の知名度の向上や新たなファンの獲得などに資する成果となったと評価できる。			年度評価			A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
		A	A	A	A			
総評							総合評価	

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名：山口市市民会館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者		来館者への対応や施設の適切な管理を行い、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。 指定管理者制度を活用し、質の高い文化芸術鑑賞機会づくりに取り組みました。 また、市内で文化活動をしている市民や団体が、日頃の活動成果を発表する場を提供するとともに、参加機会の充実を図る事業を開催しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設となります。 質の高い文化芸術に触れる機会が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	芸術鑑賞機会の拡充と文化を担う人材育成	
事業開始背景等	市民の文化の向上と福祉の増進を図るため、昭和46年8月に設置した当該施設の管理運営を目的として本事業を実施します。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	指定管理者により、来館者が安全で快適に利用できる環境が確保でき、提供されています。 新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で事業実施が進み、成果としては回復方向に進捗しました。 引き続き、市民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供することで、さらなる成果の向上に努めます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		同規模の施設としてKDDI維新ホールがありますが、市民の文化の向上及び福祉の増進を目的としており、設置目的が異なるため、再編できません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		施設を適切に維持するためには、一定の予算確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
市民のニーズを把握しながら、受託事業・自主事業を展開し、市民の文化の向上及び福祉の増進を図っています。 また、施設の老朽化が進んでいるため、保守点検に加え、職員による巡回点検を実施するなど、機器の設置業者やメンテナンス業者との連携を図りながら、不良箇所等の早期発見や施設利用者の意見を反映した施設整備に努めています。 今後も、「市民に鑑賞機会を提供する事業」と「市民の参加機会の充実を図る事業」のバランスの良い事業展開による施設運営を期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市市民会館

指定管理者: 公益財団法人山口市文化振興財団

指定期間: 令和4年度～令和8年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。				☆		3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆		3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3	
評点合計				標準	60	加算	4	64	
審査結果	施設の老朽化や利用者の安全確保に対応した対策が適切に講じられている。また、大学生を起用したポスター等の配布やデジタルサイネージ・SNSの活用など効果的かつ効果的な広報について積極的な取組がなされている。さらに、ポスター掲示など協力いただくだけでなく、市民会館での催し物情報を積極的に提供することにより、イベント開催時の地域の商店の活性化につながるなど、地域の連携や賑わいの創出につながっている。 貸館事業との区別も意識しながら、いかに市民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を市民に提供するかの視点で、受託事業、自主事業の事業企画を検討されており、施設の設置目的に沿った事業実施が出来ている。 今後も安全性確保のための一層細やかな施設の維持管理と、市民の身近な鑑賞機会や創作活動の場としての充実を図り、市民の多彩な文化芸術活動が促進されることを期待する。				年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
総評		A	-	-	-	-	総合評価		

事務事業評価報告書

施設名: C・S赤れんが

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民 来館者		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度の導入により民間のノウハウを取り入れ、来館者への対応や施設の適切な管理を行い、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。 指定管理者制度を活用し、C・S赤れんがにおいて、文化芸術に参加しやすい環境を創出しました。市民文化活動の促進や、地域資源を生かした文化振興が期待できる企画事業(受託事業)を実施しました。 	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設となります。 文化芸術に触れる機会が増えます。 文化活動に参加する機会が増えます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	身近で多彩な文化・芸術活動のための環境づくり	
事業開始背景等	C・S赤れんがは、県立図書館増設書庫であった建物であり、市民運動により本市での保存活用を決定した経緯を持っています。個性的な外観とコンパクトなスペースを持つ当該施設が、市民が利用しやすく、質の高い芸術文化を提供できる環境づくりを目的として本事業を実施します。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症の影響により利用料収入の減少がありましたが、指定管理者が経費節減などを図り、影響を最小限にするよう努めました。また、積極的な施設の周知活動により、貸館利用率の増加に努めました。また、令和4年度は開館30周年記念事業として受託事業は6回実施するなど、文化芸術の体験・鑑賞機会の提供に寄与することができました。利用者がコンサートや展示会等の開催を控えた事例もあったものの、前年度に比べ貸館利用率は改善しました。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	C・S赤れんが特有のコンパクトなスペースの施設管理であり、類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	指定管理者公募の際の仕様書に上限額を示していることから、一定の予算確保が必要です。	
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
市民文化活動の促進や、地域資源を生かした文化振興が期待できる企画事業を実施するなど、質の高い芸術文化の提供に寄与しています。また、コロナ禍により、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用者がコンサートや展示会等の開催を控えた事例もあったものの、積極的な周知活動により、前年度に比べ貸館利用率は改善するなど、適正な施設運営が実施されており、今後も利用者数の向上に期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: クリエイティブ・スペース赤れんが

指定管理者: 特定非営利活動法人こどもステーション| 指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務				☆	4	
	維持管理業務				☆		3	
	再委託監督				☆		3	
	人員配置職員研修			☆			3	
	地域連携			☆			3	
	接客対応				☆		4	
	労働環境			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用			☆			3
		個人情報保護			☆			3
		安全対策			☆			3
危機管理				☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動			☆		3	
	利用者満足度	サービス向上			☆		3	
		自主事業			☆		4	
		受託事業			☆		4	
		改善運動			☆		3	
経営状況	収支等実績	収入確保			☆		3	
		収支計画との整合性			☆		3	
		安定経営			☆		3	
		経理状況			☆		3	
評点合計				標準	60	加算	4	64
審査結果	施設の維持管理や保守点検等を、協定内容に基づき適正に行うだけでなく、感染症対策や、よりよい施設となるような管理の工夫を行っている。 受託事業においては、指定管理者の実績やネットワークを生かしながら利用者のニーズを把握して企画するなど、親しみやすく、質の高い芸術文化を提供している。令和4年度は、開館30周年記念事業を実施し、赤れんがの30年の歩みを振り返るとともに、チェンバロコンサートの開催など質の高い芸術文化の提供や地域振興に寄与した。 また、自主事業では地域の文化施設との共同イベントで、地域や関係団体との積極的な連携を行っている。 コロナ禍において、収入の減少がありながらも、経費節減に努め安定した管理を行うなど、地域の文化芸術活動促進と施設の適正な運営によく努めたと評価できる。				年度評価		A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評		A	A	A				

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

事務事業評価報告書

施設名: 山口市菜香亭

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
山口市菜香亭		指定管理者制度のもと民間のノウハウを取り入れた運営により、来館者の快適な利用空間・環境の確保に努めました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設として、適切な管理運営が行われています。			
総合計画体系	政策	02 教育・文化・スポーツ	
	施策	03 文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	04 文化・芸術・歴史を生かした本市の個性の創造と発信	
事業開始背景等	明治10年(1877年)頃に創業された歴史ある料亭「菜香亭」は、平成8年(1996年)に閉じましたが、市民の保存運動により移築保存されることとなり、平成16年10月、市民の文化活動及びまちづくり活動の場あるいは観光における拠点施設として開館しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	施設の管理運営面については、来館者へのガイダンスや、施設の点検及び修繕、清掃等が適切に実施されたとともに、年間を通じて来館者が快適に利用できる空間・環境の確保ができたものと考えています。 また、令和4年度の入館者数は19,119人で、令和3年度に比べ3,274人増加しました。これは、コロナの回復基調により、インバウンドを含めた利用者回復傾向がみられたためと思われます。令和5年度については、魅力的なイベントの開催や、周辺施設との連携により、更なる周遊促進に努め、事業成果の向上に向けた取組を進めます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
効率性	成果向上余地	観光資源を有する文化施設の管理運営であり、類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	地域文化の向上、地域の人材育成を図るとともに、本市の歴史・文化を保存し、交流の場として活用するためには、一定の予算確保が必要です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
効率性	コスト削減余地		
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者職員による施設の魅力を分かりやすく周知するガイダンスは、来館者の満足度も高く、施設の大きな魅力となっています。また、丁寧な施設清掃や歴史的建物の管理に求められる修繕箇所などの細かな把握などについても適切に対応されています。引き続き、来館者が快適・安全に利用できる施設運営、歴史文化資源を活用した企画展・イベントなど、魅力ある各種事業の実施に取り組んでいただきたいと思います。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市菜香亭

指定管理者: 特定非営利活動法人 歴史の町山口を甦らせる会

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務			☆		3	
	維持管理業務				☆		3	
	再委託監督				☆		3	
	人員配置職員研修				☆		3	
	地域連携				☆		4	
	接客対応				☆		4	
	労働環境				☆		3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用				☆		3	
	個人情報保護				☆		3	
	安全対策				☆		3	
	危機管理				☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動			☆		3	
	利用者満足度	サービス向上			☆		3	
		自主事業				☆		4
		受託事業				☆		3
		改善運動				☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保			☆		3	
		収支計画との整合性			☆		3	
		安定経営			☆		3	
		経理状況			☆		3	
評点合計			標準	60	加算	3	63	
審査結果	地域文化の向上及び地域を担う人材育成を図るとともに、本市の貴重な歴史・文化資源を次代に向けて保存し、幅広い交流の場として活用するという施設の設置目的に沿った運営が行われている。また、大広間の展覧や施設の歴史等の丁寧なガイダンス、時節を捉えたテーマによる企画展の実施等が行われているほか、コロナの回復基調を受け、新しい事業を企画、実施するなど、積極的に利用者増加に向けた取り組みを実施している。以上のことから、令和4年度の当該施設の運営については、施設の設置目的に沿い、状況の変化に対応し、安定し適切に実施されていると認められるため、年度評価を「A」とする。		年度評価				A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総評		A	A	A			総合評価	

事務事業評価報告書

施設名： 嘉村礪多生家

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
①市民その他利用者 ②仁保地区		指定管理者制度を活用し、嘉村礪多生家「帰郷庵」において、嘉村礪多を顕彰するとともに、その作品の舞台となった生家周辺地域における文化的価値を地域資源として生かし、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るための事業を実施しました。 【事業内容】 ・市外在住者への情報発信 ・地域活性化に寄与する都市と農村交流イベント等の実施 ・地元住民等による地域活動の実施	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		【指定管理者】嘉村礪多生家の会 【委託期間】令和4年度から5年間	
①嘉村礪多生家という地域資源を生かし、地域の活性化を図ります。 ②嘉村礪多生家を拠点とした地域間交流が活発化します。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	文化・芸術・歴史を生かした本市個性の創造と発信	
事業開始背景等	「私小説の極北」と称された小説家「嘉村礪多」の生家が、築後約140年を経過した現在も仁保上郷地区に現存しています。この地域資源を高齢化、過疎化の進む農山村地域の地域コミュニティの形成や地域活性化のため、活用することが求められています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	地元の仁保地区を母体とした指定管理者が施設の運営管理を実施しています。令和4年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2つの成果指標ともに前年度実績を概ね維持する形となりました。古民家生活体験は市外からの利用が多く、本市への誘客に貢献しています。令和2年度から登録しているメンバーフレンドショップを活用し、より多様な利用者に施設の魅力を発信していきます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		築後140年以上を経た古民家を仁保地区の活性化に資する施設として活用するものであり、当該地域に現存する同様の建物は他にないため類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		施設を活用し嘉村礪多を顕彰するとともに、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るために、一定の予算の確保が必要です。
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
来館者には、それぞれのニーズにあった、満足度の高い体験メニューが実施されており、評価も高いです。また、施設の維持管理も問題なく実施されています。独自の工夫により野外活動メニューの充実を図るなど、利用者サービスや施設の魅力の向上が図られており、引き続き、来館者の満足度の向上や安全等に配慮した取組を進められることを期待します。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 嘉村磯多生家

指定管理者: 嘉村磯多生家の会

指定期間: 平成4年度～令和8年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	<ul style="list-style-type: none"> 運営業務: 受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。 維持管理業務: 清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。 再委託監督: 再委託先に対する監督等が適正に行われたか。 人員配置職員研修: 適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。 地域連携: 地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。 接客対応: 苦情に対する対応は適切であったか。接客対応は適切であったか。利用者に対する案内、説明は適切であったか。 労働環境: 良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。 	施設の設置目的に沿った貸し館の利用許可が行われるなど、基本的な施設管理が十分行われており、また、修繕についても来館者の安全性の確保とともに、施設の雰囲気や壊れないよう配慮した形での対応が行われている。			☆		3	
	仕様書に示されている項目、頻度を遵守した形での清掃、保守点検が為されている。また、備品については、台帳を備え、適正な管理がなされている。			☆			3		
	作業後、担当者が現地確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3		
	施設管理人及び事務局等について、業務に応じた適正な人員配置を図るとともに、毎月第一水曜日に事務局と施設管理人による定例会議を開催することで、施設管理に関する情報共有や課題解決、利用者に対する接遇等についての職員研修が行われている。			☆			3		
	指定管理者の母体である仁保自治会を中心に関係団体等との十分な連携や協働のもと、施設管理や企画事業の実施が行われている。			☆			3		
	組織内及び行政担当者との緊急連絡網を備えるとともに、苦情があった場合には、日誌に掲載し、組織内で情報を共有できるように対応がルーブル化されている。				☆		4		
	人員配置を考慮したローテーション勤務により、適正な勤務体制がとられている。			☆			3		
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的及び施設利用について職員が共通認識を持つとともに、パンフレットやHP、SNSにて広く一般に周知を図ることで、市民の平等利用に関する姿勢は適切に保たれている。			☆		3	
	個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努めている。			☆		3	
	安全対策	日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	日中は施設管理人が常駐するとともに、古民家生活体験利用がある場合において利用者は、緊急時には施設周辺に在住する管理人に連絡が取れるような体制となっており、適切な安全対策が取られている。			☆		3	
	危機管理	防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	火災報知器・緊急通報システムを設置しており、緊急時の組織内及び行政担当者との緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えている。新型コロナウイルス感染拡大防止対策についても恒常的に取り組んでいる。			☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	施設パンフレットの配布やHP・SNSを使ったPRのほか、令和2年度にモンベルフレンドショップに登録したことによる多様な利用者への魅力の発信に取り組みなど、積極的な情報発信を行っており、効果的なPRが行われている。			☆		4
	サービス向上	利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	アンケートにより利用者のニーズ、意見の把握を図るほか、独自の工夫により野外活動メニューの充実を図るなど、利用者サービスの魅力の向上が図られている。			☆		4	
	利用者満足度	自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	利用者ニーズを把握した上で、施設及び周辺の自然環境を生かした自主事業が実施されている。			☆		3
	受託事業	受託事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的を踏まえた嘉村磯多の顕彰事業や都市と農村の交流事業が実施されている。			☆		3	
	改善運動	アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	来館者及び貸し館利用者へのアンケートを実施し、施設利用者の意見を取り入れる体制を備えており、可能な限り管理運営に反映するよう努めている。			☆		3	
経営状況	収支等実績	収入確保	収入増加のための取組がなされたか。	施設利用の積極的なPRを行い、利用の促進に努めている。			☆		3
	収支計画との整合性	収支状況は当初収支計画と整合しているか。	新型コロナウイルス感染症による収入の減少も見られたが、おおむね当初計画と整合している。			☆		3	
	安定経営	安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が為され、また適正な人員確保も図られており、安定した経営が行われている。			☆		3	
	経理状況	月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	入館者利用者報告及び経理事務は、適正に処理されている。			☆		3	
評点合計				標準		60	加算	3	63
審査結果	嘉村磯多の顕彰とともに、磯多生家及びその周辺を地域資源として生かし、都市と農村の交流促進を通じて地域の活性化を図るといった、施設の設置目的に沿ったサービス事業が指定管理者を中心に、地域の関係団体等との協働のもとに実施されている。嘉村磯多生家は、令和4年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者は前年度と横ばいとなったが、平成23年度から指定管理者制度を導入して以降、多くの方にご利用いただき、リピーターの方も増えてきていることは、地域と一体となった指定管理者の良好な管理運営によるものであると高く評価できる。また、SNSを活用し、市内外を問わず多くの方へ訴求力のある広報を展開されている点について評価できる。今後とも施設の設置目的のさらなる実現に向け、施設及び周辺の環境を生かした企画事業の実施や、市内のこれまで活用したことのない新たな利用者の増加につながるような一層効果的な施設PRを期待する。			年度評価					A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
		A							
総評						総合評価			

事務事業評価報告書

施設名: 十朋亭維新館

担当部 交流創造部

担当課 文化交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
十朋亭維新館		指定管理者制度のもと民間のノウハウを取り入れた運営により、来館者に満足度の高いガイダンスを提供するとともに、快適な利用空間・環境の確保に取り組みました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
来館者が安全・快適に利用できる施設として、適切な管理運営が行われています。			
総合計画体系	政策	02 教育・文化・スポーツ	
	施策	03 文化・芸術・歴史の継承と創造	
	基本事業	04 文化・芸術・歴史を生かした本市の個性の創造と発信	
事業開始背景等	市指定史跡十朋亭は平成15年度、杉私塾やその他の土地・建物、関連資料と共に寄附されました。平成26年度には萬代家主屋を含む周辺土地・建物が寄附されました。その後、平成27年度に施設等整備に着手し、平成30年3月に竣工。同年9月29日(土)に、山口市の幕末維新について学べる施設、大内文化特定地域の新たな回遊スポットとしてオープンしました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	令和3年度から指定管理者制度を採用し、効率的な民間手法の導入を図りました。来館者へのガイダンスや、施設の点検及び修繕、清掃等が適切に実施されたとともに、安全管理上の問題点も発生していないことから、年間を通じて来館者が快適に利用できる空間・環境を確保することができたものと考えます。今後も、指定管理者のノウハウ等を活かし、施設の安定的な管理運営に努めます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		歴史的観光資源を有する文化施設の管理運営事業であるため、他事業との再編はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		地域文化の向上、地域の人材育成を図るとともに、本市の歴史文化資源を保存し交流の場として活用するためには、一定の予算確保が必要です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者による企画展示の実施やガイダンス、施設を活用したイベント等は、施設の魅力をわかりやすく来館者にPRするものであり、施設の大きな魅力となっています。 また、丁寧な施設清掃や歴史的建物の管理に求められる修繕ヶ所の細かな把握などについても適切に対応されています。 引き続き、来館者が快適・安全に利用できる施設運営、歴史文化資源を活用したイベントや企画展、自主事業等の実施に取り組んでいきたいと考えています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 十朋寺維新館

指定管理者: 特定非営利活動法人 大路小路まち・ひとづくりネットワーク

指定期間: 令和3年度～令和5年度(令和4年度)

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施							
	運営業務	受付事務、利用許可、鍵施設、修繕など適正な施設の運営が行われたか。			☆		3	
	維持管理業務	清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆		3	
	再委託監督	再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆		3	
	人員配置職員研修	適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆		3	
	地域連携	地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆	4	
	接客対応	利用者に対する案内、説明は適切であったか。 苦情に対する対応は適切であったか。 接客対応は適切であったか。			☆		3	
労働環境	良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆		3		
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆		3	
	個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆		3	
	安全対策	日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆		3	
	危機管理	防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	施設設置目的の達成に向けた効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆		3
	利用者満足度	サービス向上	利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆	4
		自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3
		受託事業	受託事業は適切に実施されたか。			☆		3
		改善運動	アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	収入増加のための取組がなされたか。				☆	4
		収支計画との整合性	収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3
		安定経営	安定的な経営が行われたか。			☆		3
		経理状況	月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3
評点合計				標準	60	加算	3	63
審査結果	本市の貴重な歴史・文化資源を次代に向けて保存し、幅広い交流の場として活用するという施設の設置目的に沿った運営が行われている。 また、史跡十朋寺や施設の魅力を分かりやすく周知するガイドンス、時節を捉えたテーマや幕末明治維新に関する所蔵品を活用した企画展の実施等が行われているほか、コロナ禍において、有料展示施設の来館者が減少する中、SNSや動画配信の積極的な活用等による情報発信は十朋寺維新館の知名度の向上や新たなファンの獲得などに資する取組やミュージアムショップの開設など評価できる。	年度評価					A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評		A	A					

事務事業評価報告書

施設名: 国民宿舎秋穂荘

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
観光客 国民宿舎秋穂荘		国民宿舎として、入浴・宿泊施設のほか、レストラン施設も併設しており、指定管理者である、株式会社あいおが適切な運営を行いました。利用者が、安心して利用できるよう施設の修繕等を行い、施設利用の促進を図るとともに、利用者のニーズを踏まえたサービスの提供に努めました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光基盤の整備	
事業開始背景等	昭和41年度に国民年金融資資金を活用し建設し、平成12年度リニューアルしました。直営を経て、平成20年度からは株式会社あいおが指定管理者となり運営しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による施設運営への影響が続く中、各種宿泊券など宿泊需要喚起策等により、宿泊客、日帰り客ともに令和3年度と比べ増加しました。海が一望でき景観がよいという特徴を生かしたPRや、近隣の圏域への営業活動などによる新規顧客の開拓、満足度向上への取組によるリピーター確保により成果向上が期待できます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		特にありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		本事業は地域振興の拠点としての役割が求められており、公の施設として、現行の指定管理者制度における運営を継続していく方向です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
当施設は、平成30年度末に「公共で担うべき秋穂地域の経済産業・地域振興の拠点的施設」として位置づけられており、宿泊機能に加えて、秋穂地域の交流の核施設として活用していく方針です。 株式会社あいおは、指定管理者制度を導入して以来、指定管理者として同施設の管理運営を行っており、施設管理や管理運営体制については特に問題ありません。 今後は、全国旅行支援等の宿泊助成制度が終了する中で、増加した宿泊客数を維持しながら、新型コロナウイルスの影響が残る日帰り客数の回復を図ることで、新型コロナウイルス感染症や物価高騰により影響を受けた経営状況の立て直しを図り、併せて収益力強化の取組を図ることにより、より安定的な経営を目指すとともに、秋穂地域の交流の核施設としての取組を図ることにより、成果向上が見込まれます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 国民宿舎秋穂荘 指定管理者: 株式会社あいお

指定期間: 令和2年度～令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務			☆			3	
	維持管理業務				☆			3	
	再委託監督				☆			3	
	人員配置職員研修				☆			3	
	地域連携					☆		4	
	接客対応					☆		4	
	労働環境					☆		3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用				☆			3	
	個人情報保護				☆			3	
	安全対策					☆		4	
	危機管理				☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上			☆			3	
		自主事業				☆		4	
		改善運動				☆		3	
経営状況	収支等実績	収入確保			☆			3	
		収支計画との整合性			☆			3	
		安定経営			☆			2	
		経理状況			☆			3	
評点合計			標準		57	加算	3	60	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。管理運営体制については、社員全体で運営について共通理解が図られている状況である。全国旅行支援による宿泊需要喚起策により宿泊客数はコロナ前を上回る結果となっているが、日帰り客数は、コロナ前の水準には回復していない状況である。今後については、宿泊需要喚起策終了後も宿泊客数を維持しながら、日帰り客数の回復を図ることで利用者数全体の増加並びに収益力強化による経営状況の立て直しを図り、安定的な経営を目指す必要がある。		年度評価		B				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
		B	B	B					
総評									

事務事業評価報告書

施設名: 重源の郷体験交流公園

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
重源の郷体験交流公園		徳地地域の歴史と文化、自然を活かした体験型交流公園として、紙漉きや木工などの各種体験を楽しめる施設です。 指定管理者への施設管理委託を行いました。 (令和2年度～4年度)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		重源の郷及び徳地地域全体への誘客促進に向け、外部人材の活用等による調査研究を行うとともに、地域内連携体制の構築に取り組みました。	
施設利用者の満足度が向上し、利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光基盤の整備	
事業開始背景等	人、物、文化、情報の交流を図り、地域の活性化及び地域住民の福祉増進等に幅広い波及効果を生み、新たなまちづくりを推進するため、平成10年4月に徳地地域の歴史と文化、自然を活かした体験型交流公園として開園しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	年々入郷者数が減少していましたが、近年は概ね維持しています。 令和6年度の施設リニューアルを契機とし、外部人材を活用したコンセプトの見直しや施設改修、組織体制の強化を行うことで成果向上が見込まれます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		類似の事業はありません。 指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算確保が必要です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
施設管理については、感染症対策として、消毒液の設置や座席数の削減など適切に安全対策を実施するとともに、施設の老朽化が進む中、景観保持や機器故障の対応、清掃作業等園内の環境整備に努めるなど、概ね良好に運営されています。 また、利用者数については、感染症の影響が続く中、地域との連携、季節に合わせた魅力あるイベント、メディア等の活用などによる広報を実施し、利用促進・収入増加に努めたことにより、概ね前年並みを維持するとともに、自主事業の売上収入増加につなげるなど、安定的な経営が行われています。 今後、施設のリニューアルを契機とし、重源の郷のさらなる誘客促進と、その経済効果を徳地地域全体へ波及させることを目指し、徳地地域の商工業者や団体を中心に地域一体となった受入体制の構築、おもてなし機運の醸成を促すとともに、施設の運営組織体制やリニューアル後の企画等の検討を行い、満足度の向上、リピーターの増加を図ることにより、成果向上が見込まれます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 重源の郷体験交流公園

指定管理者: 株式会社ちようげん

指定期間: 令和2年度~令和4年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、簡易な修繕や施設整備も独自に実施している。			☆			3	
	維持管理業務	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。12月から2月の閉歇期に、週1日臨時休園日を設け、清掃作業等園内の整備に努めている。			☆			3	
	再委託監督	担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3	
	人員配置職員研修	退職による職員の補充のため、ハローワーク等で募集しているが、雇用につながらず、適正な人員配置が行われていない。職員は複数箇所を担当できるよう研修を行っている。		☆				2	
	地域連携	地元業者の活用や、地域イベント開催時には参画するなど、地域との連携を図る取組を継続して実施している。			☆			3	
	接客対応	接客対応に対し、苦情があった事例もあるが、その都度内容を確認し、職員で情報共有のうえ、さらなるサービス向上に向け指導している。			☆			3	
	労働環境	休暇や福利厚生について配慮している。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	車いすの設置や歩行困難の方には車両通行許可証を交付するなど平等利用について適切な対応をされている。			☆			3	
	個人情報保護	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護及び関係書類の適正な管理に努めている。			☆			3	
	安全対策	随時園内を見回り、危険箇所を確認している。また、感染症対策として、消毒液の設置や座席数の削減など適切に安全対策が取られている。			☆			3	
	危機管理	消防通報訓練、避難訓練の実施や感染症対策の徹底など予防措置を講じるとともに、緊急時に備えて連絡網やマニュアルを作成するなど、危機管理体制が整備されている。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	施設HPや市報、地元情報誌やメディアへの宣伝・広告掲載、また近隣県には路面電車等への広告掲載を活用し広報に努めている。			☆			3	
	サービス向上	季節にあわせたさまざまなイベントの開催や体験工房における丁寧な指導、入園料割引等の実施により、利用促進を図っている。			☆			3	
	利用者満足度	各工房での体験メニューは好評であり、適切に実施されている。			☆			3	
経営状況	収入確保	感染症対策としての座席数削減等を余儀なくされる中、季節にあわせたさまざまなイベント実施や、食事処花ひとえの重源弁当の受注拡大を図るなど、収入の増加に努めている。				☆		4	
	収支計画との整合性	計画作成時には予測不能な原油価格・物価高騰等のため発生した費用の増加などにより、当初収支計画と差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適正に管理されている。			☆			3	
	安定経営	感染症の影響が続く中、利用者数は概ね前年並みを維持するとともに経費の削減に努めるなど、安定的な経営が行われている。			☆			3	
	経理状況	経理については、税理士と相談しながら経営分析を行い、毎月の報告及び経理事務は適正に管理されている。			☆			3	
評点合計					標準	57	加算	0	57
審査結果	施設管理については、感染症対策として、消毒液の設置や座席数の削減など適切に安全対策を実施するとともに、施設の老朽化が進む中、景観保持や機器故障の対応、清掃作業等園内の環境整備に努めるなど、概ね良好に運営されている。また、利用者数については、感染症の影響が続く中、地域との連携、季節に合わせた魅力あるイベント、メディア等の活用などによる広報を実施し、利用促進・収入増加に努めたことにより、概ね前年並みを維持するとともに、自主事業の売上収入増加につなげるなど、安定的な経営が行われている。				年度評価				B
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
		B	B	B	-	-			
総評	施設管理については、日々の環境整備に努めるとともに、令和2年から新たに設定した冬季閉歇期の休園日を活用した景観の向上に取り組みなど、概ね良好に運営されている。運営状況については、経費の節減とあわせ、季節に合わせたイベント実施等による集客や重源弁当の受注拡大等の収入確保に向けた取組、また体験工房における丁寧な指導といった満足度の向上、地域と連携したイベントへの協力など地域との連携に努めた点は評価できる。こうした取組を通じて、施設の老朽化とともに感染症拡大の影響の大きかった3年間であったが、利用者数・売上ともに概ね維持しており、安定的な経営が行われたと考える。						総合評価		一部不良

事務事業評価報告書

施設名: 大原湖キャンプ場

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
大原湖キャンプ場		令和2年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者への管理運営委託を実施しました。(令和2年度~4年度) 利用者の利便性向上に向け、トイレ洋式化等の施設改修を実施しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光基盤の整備	
事業開始背景等	恵まれた豊かな自然の中に滞在型観光レクリエーション活動の場を確保し、地場産業の振興等山口市の活性化を促進する目的をもって、平成10年4月に大原湖キャンプ場が設置されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	湖畔の立地を生かしたカヌー体験や森林セラピー基地等の取組を引き続き行っており、新しい誘客コンテンツとして令和4年度よりテントサウナを開始しました。 利用者数が横ばいであるため、今後さらに大原湖キャンプ場の特色を生かした取組みを進める必要があります。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		阿東エリアにオートキャンプ場である十種ヶ峰ウッドパークがありますが、大原湖キャンプ場はカヌーができるなど湖畔にあるキャンプ場で、それぞれ特色が異なります。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		現行の施設運営でより成果を上げるには、老朽設備の更新・修繕等も含め、相応の費用が必要と考えます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元業者の活用や、地域と連携した取組、メンバーフレンドショップへの登録を契機とした利用促進を図るサービスの提供、月約2回の体験イベント、キャンプ場予約専用サイトの活用などを実施し、利用促進を図り収入増加に努めています。 利用者数については、令和3年度と比較して96.7%と概ね維持しており、テントサウナの導入や初心者向けキャンプ教室の実施など、新規顧客の開拓を行っています。 今後も、さらなる利用促進・収入増加の方策を検討する必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:大原湖キャンプ場

指定管理者:徳地ふるさと資源活用協会

指定期間:令和2年度～令和4年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、簡易な修繕は独自に実施されている。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。			☆				3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆				3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	利用者数の状況に合わせ人員配置が行われ、業務内研修が行われている。			☆				3
	地域連携	・清掃隊など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地元業者の活用や、地域と連携した取組を実施している。			☆				3
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった場合には、職員で情報共有されている。苦情に対し、対応の改善等が行われている。			☆				3
	労働環境	・良質なサービス提供するための労働環境は充実していたか。	休暇や福利厚生について配慮されている。			☆				3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	平等利用について適切な対応がされている。			☆				3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護及び関係書類の適正な管理に努めている。			☆				3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	場内を見回り、危険箇所を確認。危険個所に注意喚起の貼紙を掲示するなど、迅速な修繕対応を行っている。			☆				3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	適切に防犯・防災設備の点検が行われるとともに、避難訓練の実施や感染症対策の徹底など予防措置が講じられている。緊急時に備えた連絡網やマニュアルの作成など、危機管理体制が整備されている。			☆				3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	公式ウェブサイトやパンフレット、市報等により、適切な情報提供が行われた。地域情報誌やキャンプ場専用サイト、InstagramやTwitterの活用により、効果的な営業・広報活動が行われている。キャンプ場検索サイトからの予約が2/3を占める。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	テントサウナの運用を開始。カヌー体験やBBQ体験、季節毎のイベント等、特色あるイベントの開催や、モンベルクラブ会員特典の提供、申請書の英語翻訳版を作成されるなど、利用者サービスの向上や利用促進への取組が行われている。				☆		4
	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	各種体験イベントが適切に実施されている。毎回、早い段階で予約満員となっており、リピーターも多い。				☆			4
経営状況	改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートを実施し、施設管理・運営に意見を反映している。				☆			4
	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	初心者向けキャンプ教室やテントサウナなどより魅力的な自主事業の実施に努め、多くのリピーターを確保した。			☆				3
	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	当初の計画より、収入・支出ともに増加した。計画作成時には予測不能な物価高騰等のため発生した費用の増加などにより、当初収支計画と差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適正に管理されている。			☆				3
	安定経営	・安定的な経営が行われたか。	経費削減に取り組みとともに、利用者サービスの向上や利用促進に向け取り組むなど、前年度より収入が増加し、安定的な経営が行われている。				☆			4
経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月の報告及び経理事務は適正に管理されている。			☆				3	
評点合計						標準	57	加算	4	61
審査結果	施設管理については、定期的に清掃、保守点検を行い、協定に基づき軽微修繕を実施するなど、良好に運営されている。また、地元業者の活用や、地域と連携した取組、モンベルレンドショップへの登録を契機とした利用促進を図るサービスの提供、月約2回の体験イベント、キャンプ場予約専用サイトの活用などを実施し、利用促進を回り収入増加に努めている。利用者数については、令和3年度と比較して96.7%と概ね維持しており、テントサウナの導入や初心者向けキャンプ教室の実施など、新規顧客の開拓に努めている。今後も、さらなる利用促進・収入増加の方策を検討する必要がある。						年度評価			A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A	A						
総評	令和2年度より大原湖キャンプ場の指定管理を行い、地元事業者と連携した取り組みや、キャンプだけでなく、テントサウナやモルック体験、ドローン教室、ピザづくり体験等、利用者ニーズに即した自主事業を展開している。また、LED電気の導入などの経費の削減とあわせ、パンフレットや看板の多言語化やトイレの洋式化、キャンプ場予約サイトの利用開始等、利用者サービス向上の取組を積極的に行い、安定的な運営が行われている。指定管理期間中は、もともと高まっていたキャンプファンに加えコロナ禍で人気が増加し、さらにアンケート実施によるニーズの把握に努められたことにより収入の安定につながったものと考えられる。今後も、豊かな自然を生かしたアウトドアツーリズムの推進により安定的な経営を行っていただきたいと考えている。						総合評価			良好

事務事業評価報告書

施設名：湯田温泉観光回遊拠点施設

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
湯田温泉観光回遊拠点施設		湯田温泉の回遊や街の賑わいの創出を目的として、湯田温泉観光回遊拠点施設の管理運営を行いました。 指定管理者への施設管理委託を行いました。 指定管理者：特定非営利活動法人ゆだかつ 指定管理期間：R1～R5年度(H30年度指定)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
湯田温泉に回遊を促す拠点施設を整備したことにより、観光客や市民が街を巡るきっかけとなり、新たな賑わいが生まれています。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等	観光客の旅行形態が、団体旅行から、少人数型旅行へ変化している中において、より観光客のニーズを捉えた施策展開が求められており、湯田温泉においても、街の魅力づくり、地域の魅力づくりに取り組む必要があります。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	昨年度と比べて来館者数は40%程度増加し、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復しました。 展示では、徳地和紙やオートマタ、大内文化や白狐伝説など、山口市ゆかりのものを企画・実施しており、利用者への湯田温泉の魅力発信と回遊拠点としての役割を果たしています。また、観光地や休日を通り過ぎ場としての湯田温泉のブランド力が高まっており、成果向上が見込まれます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算確保が必要です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
湯田温泉をはじめとした市内への回遊促進を目的とした施設であり、マスメディアや雑誌等に掲載されることも多く、市内観光客数増加に一定の効果があるといえます。 経営についてはコロナ前(令和元年度)までの来場者、カフェ利用収入にまで回復しており、施設の設置目的に合わせた企画の実施などによる集客と収入確保とともに、維持管理経費の削減にも努めており、安定的な運営ができています。 今後も、2階多用途スペース等を活用した企画展の新たな展開に加え、常に新しい情報の収集及び発信に努めることで、さらなる回遊促進及び施設への来館促進に取り組んでいく必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 湯田温泉観光回遊拠点施設

指定管理者: 特定非営利活動法人ゆだかつ

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、仕様書に求めるサービス提供を適切に行っている。			☆			3	
	維持管理業務	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。備品についても適正に管理されている。			☆			3	
	再委託監督	担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3	
	人員配置職員研修	施設の管理運営は問題なく行われており、基本的な接客、施設の見守り等に関する研修等が実施されている。			☆			3	
	地域連携	湯田温泉旅館協同組合・料飲組合等と連携した地域の祭りやイベントへの出店や、中原中也記念館との連携事業(相互割引)の促進など積極的に行っている。				☆		4	
	接客対応	苦情に対する対応は適切であったか。接客対応は適切であったか。利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	労基法等を遵守した運営を行っている。就業規則により休暇制度等を制定し、取得についても配慮している。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	障がい者の方への適切な案内など平等利用に対する姿勢が保たれている。			☆			3	
	個人情報保護	個人情報の取り扱いはない。			☆			3	
	安全対策	事故等が起らないよう意識して展示などの設置を行っている。コロナ対策として、カフェの席数や足湯の定員減、施設内の抗菌コーティングや十分な換気などに努めている。			☆			3	
	危機管理	警備機器は適宜点検し、確実に動作することを確認している。危機管理マニュアルを整備し、職員にも周知し、緊急連絡網を作成している。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	施設HPや情報誌「ゆだより」の発行、宿泊施設用のチラシ作成、ツイッター、インスタグラムなどにより、施設のPR及び情報発信に努めている。また、マスメディアや雑誌等の撮影・取材、視察対応など積極的に受け入れている。				☆		4	
	利用者満足度	サービス向上	足湯利用料金の割引(中原中也記念館との連携、JAF、レノファ、プレミアムフライデー等)実施やぶらやまと連携してデジタルチケットの取扱を実施している。				☆		4
		自主事業	季節にあわせたイベント実施やカフェメニューの更新など、関係団体と連携し、施設の設置目的に則した魅力ある自主事業を企画・実施され、回遊促進に努めている。				☆		4
		受託事業	市と連携し、徳和紙や大内塗などの地域資源を活用した集客・回遊促進に資する展示を適切に企画・実施されている。				☆		3
		改善運動	利用者アンケートを実施し、すぐに出来ることは対応している。(足湯の温度調整など)				☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	展示やイベント、カフェメニューの更新などの収入増加の取組が行われている。				☆		4
		収支計画との整合性	収入については、足湯の利用料金・カフェ収入も要請に推移している。計画作成時には予測不能な物価高騰等のため発生した費用の増加などにより、当初収支計画と差異のある科目があるが、支出は必要最小限に抑えられ、収支は適正に管理されている。				☆		3
		安定経営	展示やイベント、カフェメニューの更新などの収入増加の取組が行われている。指定管理者7年目ということもあり、経営のノウハウが身についてきており、安定的な運営ができています。				☆		3
		経理状況	毎月利用人数報告及び経理事務は適正に処理されている。				☆		3
評点合計		標準		60	加算	5		65	
審査結果	施設管理について、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。運営業務について、アンケート調査による意見の反映や職員研修も適時行われ、サービス向上への取組がなされており、昨年度と比べて来館者数は40%程度増加し、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復している。また、季節に合わせたイベントやカフェメニューの更新、SNSなどさまざまな方法による情報発信や、関係団体・周辺施設との連携により、利用者への湯田温泉の魅力発信と回遊拠点としての役割を果たしている。指定管理制度導入通年7年目を迎え、経営のノウハウが生かされており、安定的な経営が行われています。	年度評価					A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評		S	S	S	A				

事務事業評価報告書

施設名:新山口駅観光交流センター

担当部 交流創造部

担当課 観光交流課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
観光交流センター		市内及び県内の観光情報の発信、交流人口の拡大を目的として、観光交流センターの管理運営を行いました。 指定管理者への施設管理委託を行いました。 (令和4年度～8年度)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
観光交流センターを管理運営することにより、観光客に効果的に観光情報を発信し、交流人口の拡大を図ります。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光ホスピタリティの充実	
事業開始背景等	市内及び県内の観光情報の発信、交流人口の拡大を目的として、新山口駅北口に開館しました。 令和元年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	観光客の問合せや要望にきめ細やかに対応できる体制の維持、多彩な観光情報の一元的な提供を行うことで、満足度の向上、観光客数の増加に寄与します。 また、外国人観光客への観光案内ができる体制を維持することで、インバウンド観光誘客を促進します。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		本市の観光情報を発信するうえで、山口県及び山口市の陸の玄関口でもある新山口駅は、重要な拠点です。 また、民間事業者による観光情報の発信もありますが、公平公正な立場で情報提供する必要があります。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算確保が必要です。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>施設内にある観光案内所や交流活動ホール等の機能を活用した情報発信や多様な交流創出により、地域の活性化と広域観光の進展に一定の効果があるといえます。</p> <p>また、魅力ある自主事業・受託事業の実施やHP、SNS等による情報発信により新たな利用者の獲得に向けた取組を行うことで、継続して施設に求められる役割を果たすことに努めています。</p> <p>今後は、訪日外国人観光客の回復を見据え、山口県の陸の玄関口として多言語に対応できる体制の維持によりインバウンド誘客に取り組むと共に、施設に隣接するKDDI維新ホール利用者へのきめ細かな対応と、常に新しい情報の収集と発信に努め、引き続き地域の活性化と広域観光の進展に取り組んでいく必要があります。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 新山口駅観光交流センター

指定管理者: 一般財団法人山口観光コンベンション協会

指定期間: 令和4年度~令和8年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀				
		(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、仕様書に求めるサービス提供を適切に行っている。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。備品についても適正に管理されている。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	JNTO認定外国人案内所のカテゴリ-3の認定を維持し、外国語対応も含めて適切に人員配置をおこなっている。また、施設の設置目的に即した研修等の取り組みが実施されている。				☆		4	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携が適切に行われていたか。	近隣の保育園・幼稚園と連携した七夕の作品展示やFM山口が実施する音楽イベントへの協力など、地域の団体等との連携を積極的に実施している。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情等ほとんどなく、利用者に対して親切丁寧な案内を行っている。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	休暇や福利厚生について問題なし。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	適切な対応をされている。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	適切な対応をされている。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	事故等が起こらないよう意識して展示などの設置を行っている。また、感染症等の対策についても十分考慮し、実施している。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	施設内に防犯カメラを設置するほか、感染症対策の徹底など予防措置を講じており、危機管理体制は適正に整備されている。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	SNS情報発信など、既存の利用者以外にも利用が図られるよう努めている。また隣接するKDDI維新ホール利用者への情報提供等、施設目的達成に向け取り組んでいる。			☆			4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	周辺のランチマップ作成や市内外の観光パンフレットの配架、手ぶら観光サービスの提供など利用者のニーズに沿った観光情報の提供を行い、また外国人観光客に対しフルタイムで複数言語での観光案内サービスを提供するJNTO認定外国人案内所のカテゴリ-3の認定を維持し、利用者へのサービス向上に努めている。			☆			4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	アンケートで要望の多かった「充電」に関してスポットチャージを設置、また新山口駅の立地を活かした「山口ゆめ回廊」に関する情報発信や物販(特産品販売)を行うほか、民間から寄贈を受けた駅ピアノを活かした情報発信イベントの実施など、施設の設置目的に即した自主事業を企画・実施されている。			☆			4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	市と連携し、適切に実施されている。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケートを実施し、意見を自主事業へ反映するよう努めている。			☆			4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	手荷物一時預かりやレンタサイクルなどを積極的にを行い、収入増加のための取組を行っている。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	収入については、施設利用に伴う利用料収入が当初収支計画よりも大幅に上回るなど、良好である。また、支出については、経営に支障のない範囲で削減に努めている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	指定管理以前の業務委託期からの継続による経営のノウハウを活かした、安定的な運営ができていく。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月の利用人数報告及び経理事務は適正に処理されている。			☆			3
評点合計				標準		60	加算	5	65	
審査結果	管理運営については、外国語対応できるスタッフの複数配置や職員研修の実施などを通じ、適正な人員配置、職員の育成・指導が行われている。利用者サービス向上への取り組みについては、実際の利用者の声を積極的に取り入れ、充電スポットの設置や手ぶら観光サービスの実施など、利用者のニーズに沿ったサービスと観光情報の提供を行っている。またJNTO認定外国人案内所のカテゴリ-3の認定を維持し、外国人も含めた利用者サービスの向上に努めている。								A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
総評		A					総合評価			

事務事業評価報告書

施設名：山口市宮野地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民、宮野地域住民 ・県立大学生等 ・地域交流ステーション施設 		指定管理者制度を活用し、宮野地域交流ステーションの管理、運営を行いました。 ○指定管理期間 令和3年度～令和7年度 ○指定管理者 宮野自治連合会(非公募) ○開館期間 午前8時30分～午後10時 ○開館日 原則 毎日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
県立大学を始めとする高等教育機関の学生や地域住民等が、地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度による施設の適正な管理、運営を行います。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	宮野地域にある高等教育機関である大学と市民とが積極的に交流できる場を確保し、大学の持つ専門的な知識と住民の生活の知恵等を活かし、魅力あるまちづくりの推進のため施設を設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	令和3年度と比較すると利用者数は増加しています。 新型コロナウイルス感染症拡大による利用自粛や休館が減少し、利用者の活動が増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		決められた指定管理料のなかで経費削減や効率的な運営に十分努められていることから現状手段が適切です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である宮野自治連合会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市宮野地域交流ステーション 指定管理者：宮野自治連合会

指定期間：令和3年度～令和7年度

評価項目		評価コメント	評価					評点		
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付はスムーズに行われている。また、施設の施錠も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	職員が定期的に巡回して清掃を行い、適正な施設の維持管理に努めている。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	定期的に職員1名が施設内で待機している。ボランティアを活用した際には研修等を行うこととしている。			☆			3
		地域連携	・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	毎月1回第4土曜日に、定期利用団体と協働し、施設内外の清掃を行っている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際には、運営委員会で報告・協議を行い、適切に対処している。 利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	鍵のかかる机の引き出しに、個人情報に関する資料等を保管している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒液の設置、適切な感染対策がとられている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	自治連総会でステーションの活動報告や情報発信等を行っていることに加え、インターネットのフェイスブック等SNSを活用し、積極的に情報発信を行っている。			☆			4
		サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	常に施設内外の環境美化や自転車置場の整理・整頓に配慮されており、加えて駅利用者へ無料貸出傘や無料貸出本を設置し、利用者サービスの向上に向けて取り組んでいる。			☆			4
	利用者満足度	自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	様々な自主事業を実施されるなかで、特に県立大学と共催で実施している大学受験生を対象とした手荷物の預かりや、入学・卒業のお祝い看板の設置に加え、地域づくり協議会との共催による肴物喫茶など、大学や地域と交流しながら事業に取り組んでいることや、地区社協、民児協と連携し、要保護者等の避難所としてステーションを開設する体制づくりに取り組んでいる。				☆		5
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	利用者アンケートを実施し、意見・要望に対応可能な範囲で管理運営に反映している。また、常時要望を受け付けることができるよう意見箱を設置している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	計画的な施設管理及び事業運営が為されている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。			☆			3
評点合計			標準		51	加算	4		55	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されており、物価高騰の中においても指定管理料の中で適切に安定的な運営が行われている。また、コロナ禍において県立大学生との交流やイベントが制限され、予定どおりに交流事業ができない中、実施可能なイベント等を工夫しながら実施したりフェイスブック等のSNSを通じて広く活動を紹介したりするなど、地域に根ざしたコミュニティ活動に取り組み、地域づくり・まちづくりに貢献されている。								A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
		A	A							
総評	-			総合評価						

事務事業評価報告書

施設名: 山口市大歳地域交流ステーション

担当部 地域生活部

担当課 協働推進課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民、大歳地域住民 ・地域交流ステーション施設		指定管理者制度を活用し、大歳地域交流ステーションの管理、運営を行いました。 ○指定管理期間 令和4年度～令和8年度 ○指定管理者 大歳まちづくり協議会 ○開館時間 午前8時30分～午後10時 ○休館日 月曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域住民等が、地域交流ステーションを交流の場として活用することで、地域づくり、まちづくりに資するコミュニティ活動を促します。 指定管理者制度による施設の適正な管理、運営を行います。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	平成23年に開催された国民体育大会の来場者をおもてなしするための施設として、JR大歳駅舎を整備・活用し、国体終了後は地域づくりやコミュニティ活動を中心とした「まちづくり」をするための施設として設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	令和3年度と比較すると利用者数は増加しています。 新型コロナウイルス感染症拡大による利用自粛や休館が減少し、利用者の活動が増加しており、今後も地域におけるコミュニティ活動推進の場として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		決められた指定管理料のなかで経費削減や効率的な運営に十分努められていることから現状手段が適切です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元の地域づくり団体である大歳まちづくり協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市大歳地域交流ステーション 指定管理者：大歳まちづくり協議会

指定期間：令和4年度～令和8年度

評価項目		評価コメント		評価					評点	
				不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀		
				(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	窓口での受付は、スムーズに行われている。また、施設の施錠も徹底されており、適正な施設運営が行われている。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	地域内の障害者就労施設に清掃を委託し、施設の維持管理を適切に行っており、同事業所へ継続的に業務を委託していることは、市の障害者就労施設等からの物品等の調達方針の趣旨を大いに理解していると判断できる。				☆		4
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	再委託業者に対して、適正な監督がなされている。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	施設の利用状況を考慮し、適正な人員配置がなされている。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	施設の清掃を委託している地域内の障害者就労施設と一緒に、合同消防訓練を実施するなど関係団体と連携が図られている。			☆			3
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった際は、迅速に対応している。利用者からの質問等については、適切かつ真摯に対応している。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の設置目的を理解し、市民の平等利用に関する姿勢が保たれている。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報に関する資料等は、施錠して保管している。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	利用者の安全に配慮し、事故の事前防止に努めている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒液の設置、適切な感染対策がとられている。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時には、市を含めた関係各所へ連絡するよう連絡体制を整えている。また、防災救急セットの備えやAEDの設置、訓練もされている。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	センターだよりやまちづくり協議会が発行する「かわら版おとし」(大歳地域に全戸配布)で、施設の広報を行っている。加えて、インターネットの動画配信サイト等を活用し、より多くの人が閲覧し、利用促進につながるよう取り組まれている。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。また、自主事業を通して利用者の拡大に努める等、施設の利用促進を図っている。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	大歳駅待合室による四季の写真展の開催、SL・DLやまぐち号歓迎手旗を作成し設置するなど積極的に施設利用拡大のための取組がなされている。また、レノファ山口の応援駅として、市のPR事業に協力している。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	受付簿に意見欄を設け、利用者のニーズ把握に努めている。アンケートの結果については、内容を検討し、可能な限り管理運営に反映している。			☆			3
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	指定管理料の中で、適正に運営が行われている。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	定期的に施設利用があり、計画的な施設管理及び事業運営がなされている。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告及び経理事務は、適正に処理されており、毎月の利用状況についても報告が行われている。			☆			3
評点合計				標準		51	加算	3	54	
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されており、物価高騰の中においても指定管理料の中で適切に安定的な運営が行われている。また、自主事業としてSL・DLやまぐち号歓迎手旗を作成し、発着時に観客に手渡しを行ったり、レノファ山口の応援駅としてのPR事業に協力をし、そうした活動をインターネットの動画配信を利用し周知を行うなど施設の利用拡大にも努めるなど、地域づくり・まちづくりに資するコミュニティ活動が積極的に展開されている。			年度評価		A				
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	良好
				A						
総評					総合評価		良好			